

53 ウミコハクガイ(オトギノキサゴ)

Teinostoma lucida

(イソコハクガイ科)

兵庫県ランク:A

環境省ランク:VU

種の概要

大槌湾・能登半島から九州に分布。内湾湾口部の潮通しのよい砂浜に生じた平坦な礫地で、砂泥に埋没した転石の下(還元的環境)に生息する。殻径2.5mm。殻は平たく、半透明で光沢が強くガラス状。体層が螺塔全体を覆い包むが、偽縫合は明瞭。殻口内唇には滑層が発達し、臍孔を覆う。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
	○		○	○	○		○

県内分布

洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。2011年に洲本市の内湾に面した河口干潟で生貝がまとまって確認できたが、その後再発見していない。半ば砂泥に埋もれた転石裏の還元的環境からツメナリミヤコドリとともに発見された。今もなお環境は変わらないので、既知産地では再発見の可能性は高い。

保護上の留意点

河口や潮通しのよい内湾の砂泥干潟の半ば埋もれた転石に生息するが、このような環境は非常に少なく、護岸工事により容易に消滅するので、少なくとも既知産地においては現状維持に努める。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋

【執筆者】 川渕千尋